

NIIGATA SEIRYO NEWS

2015/3 March

NO.10



平成26年度 新潟青陵大学・新潟青陵大学短期大学部 学生表彰式

CONTENTS

01 REPORT

- ・新潟青陵学会の第7回学術集会報告について

02 MEETING

- ・国際交流セミナーを開催
～夢を迎えに行く!インドネシア出身の看護師～
- ・日韓共同国際ボランティア研修inフィリピン

03 TOPICS

- ・平成26年度 学生表彰式を実施
- ・「業界・企業研究フェア」を開催

04 EVENT

- ・新潟青陵大学短期大学部・長岡造形大学合同
ファッションショー inメディアシップ
- ・青空祭を終えて

05 EDUCATION

- ・地域の皆さまを対象に、「特別受講生制度」を実施

06 EDUCATION

- ・地域の皆さまを対象に、子育て・福祉・英語・パソコンなど、幅広い内容の講座を開講

07 INFORMATION

- ・新潟青陵大学・新潟青陵大学短期大学部からのお知らせ

大 短

新潟青陵学会の
第7回学術集会報告について

2014年11月8日、新潟青陵学会第7回学術集会が、「実践が問いかけるケアー経験の蓄積、学びの継続」をテーマとして開催されました。ケアという言葉はさまざまな状況と関係において用いられます。専門職者によるケアは、そのケアを必要とする人とケアを提供する人、ケアが行われる場によって、それぞれの専門的なやり方で提供されます。そこで、ケアを提供する看護、福祉、心理、教育のそれぞれの分野の専門職者が、その役割と機能をケアの視点から捉えなおすことを目的に、専門職者として現場で感じとっている、そして、実践しているその経験を通してケアについて考えを深めたいと考えました。基調講演では、看護場面の実践知を記述する研究に取り組まれている首都大学東京大学院教授の西村ユミ先生をお招きし、「実践を生み出し継承する看護師たちの方法」という題名のもとにご講演をいただきました。「看護師は苦しそうにしている患者の状態を気にかけ、かがみこみそれを確認しようとする。その時、看護師は患者の体を支え、その手で患者の背をさすったりする。看護師は、患者の状態と共に、その状況と共に、その存在と実践を形づくっていく。」西村先生はこの看護師の実践について、学生に演じてもらいながら、参加者

に問いかけながら、会場全体に深い思考と気づきを体験させてくださいました。

ポスターセッションは、皆様の積極的な学会への参加により、基礎研究・調査研究・実践研究等30題の発表を準備することができました。参加者からは「興味のある研究があって楽しめた」「初めてのポスター発表で緊張するのかなと思ったけど、参加者と近い分、親近感があってよかった」という意見がありました。また「発表が一斉にはじまったため発表者の声が重なり聞こえなかった」「セッションの時間が短くてゆっくりポスターをみるができなかった」など、課題となる意見もありました。これらの意見は次回の学術集会に活かしたいと考えています。

シンポジウムでは、いままさにいきいきと看護、福祉、心理の臨床の場で活躍している4名の実践者をシンポジストにお招きしました。「私の実践経験と学び」というテーマで、病院という組織の中で、看護ケア向上のために学んでいること、赤ちゃんからお年寄りまで、障がいのある人もない人もみんなに、みんなの居場所を提供することを目標に挑戦していることなど、それぞれの実践者たちに、学びがどう実践に生かされ、実践経験がどのように新たな学びを生んでいるのかを語っていただきました。学生の参加者の多くが、現実と格闘しながらも理想の実現を目指す実践者の体験談を聞き刺激を受け、先輩のようになれるように日々努力をしたいという思いを深めたという感想を述べていました。今回の学術集会には、学会員273名(正会員64名、学生会員209名)、会員外38名、総計311名の参加者がありました。本学会開催への皆様のご協力とご支援に心より厚くお礼を申し上げます。

(新潟青陵学会第7回学術集会長 金子史代)



基調講演



ポスターセッション



シンポジウム

大

国際交流セミナーを開催
～夢を迎えに行く!インドネシア出身の看護師～

2015年2月16日、大学院看護学研究科主催の国際交流セミナーを開催しました。インドネシアの出身で、現在は日本の病院で看護師として勤務されているスルガ・ディアン・モビタ (Surga Dian Movita) さんを講師としてお招きし、「日本の病院で働くよろこび～看護師国家試験の合格がもたらしたもの～」と題して講演をいただきました。

スルガさんは、日本で看護を学び、第102回(2013年)看護師国家試験に合格されています。インドネシアの救急病院で働かれていたスルガさんが日本に関心を持たれたきっかけは、日本のドラマやファッションだったそうです。それから、日本語を学ぶためインターネットを活用して語学を勉強しましたが、独学に限界を感じ、実際に日本へ行ってみたいよう決意、2011年7月に来日されました。

日本でも、インドネシアでの経験を生かし、病院で勤務しながら、国家試験にむけ勉強に励まれました。午前中は病院で入浴介助等を行い、午後から国家試験の勉強とハードな毎日ながらも、当時の病院スタッフから大変温かい支援や指導を受けたそうです。学習内容は紙に記載して、部屋の壁やトイレに貼って覚えたり、折れそうになる心をリセットするため、玄関のドアに「今日も頑張ったね。明日にむけてがんばろう!」という言葉を書いて貼って自分を奮い立たせたりしていたそうで、学生たちも真剣な眼差しで聞いていました。

スルガさんの強い想いは「お世話になった病院スタッフや母国の家族に支えられた」という感謝の気持ちからきているそうです。「夢は待っていてもだめだ、迎えに行くものだ」と言う言葉が象徴的で、参加者の「こころ」をしっかりと捉えたようでした。

参加した学生からは、「これから始まる実習への不安が大きかったのですが、大変だと考えたら大変さが2倍になる。自分にも力があると信じて頑張ろう。夢を迎えにいけるように」などの決意や活発な質問が寄せられました。

スルガさんの想いが心からあふれ出るようなすばらしい講演をうかがうことができました。

(国際交流セミナー 担当者 尾崎、池田)

大

日韓共同国際ボランティア研修 in フィリピン



2015年1月20日～26日、今年で3回目となるフィリピンボランティア研修に行ってきた。今回参加したのは、本学から学生8名と教員2名、そして、新潟青陵大学が交流協定を結んでいる韓国コットンネ大学の学生20名です。

コットンネ大学が属するカトリック団体「コットンネ」は、フィリピンやウガンダ、ハイチなど多くの国々に拠点をもち、ストリートチルドレンや身寄りのない高齢者の救済活動を行っています。今回訪れたマニラにも、コットンネの児童養護施設、特別養護老人ホームがあり、参加者はストリートチルドレンや貧困街の子供たちに対して、ボランティア活動や交流を行いました。

日韓の若者同士が力をあわせて日本と韓国の歌や文化などを紹介したり、また現地の人々とふれ合いながら、フィリピンの福祉や文化について学んできました。言葉がなかなか通じない中での活動でしたが、現地のフィリピン人のスタッフたちに助けられながら、高齢者の方々と楽しい交流ができました。学生たちは今回の研修旅行でさまざまな刺激を受け、多くのことを感じ、充実した時間を過ごしてきたようです。

今後も継続して、研修を行っていく予定です。

(国際交流委員会 担当

李、尾崎)



大 短

平成26年度 学生表彰式を実施



3月4日(水)、新潟青陵大学・新潟青陵大学短期大学部合同学生表彰式を行いました。

今回が第1回となるこの表彰式では、1団体、5名の学生が受賞し、諫山正大学学長、関昭一短大学長からそれぞれ表彰状と記念品が手渡されました。

表彰を受けた学生は、「自分ががんばってきたことをこうして学校から認めていただけたことに感謝したい」「この活動で得た経験を、社会に出てからも活かしていきたい」など、喜びを語っていました。

平成26年度 学生表彰 受賞者

●団体受賞

新潟青陵大学短期大学部女子バスケットボール部
 <受賞理由>
 第49回全国私立短期大学体育大会バスケットボール女子Bブロック優勝(平成26年度)。他、甲信越大会3位等上位大会入賞。

●個人受賞

水本 遥(看護学科2年)
 小山 美奈(福祉心理学科2年)
 <受賞理由>
 第31回全日本女子学生選抜バスケットボール大会北信越選抜選手に選出。(平成26年度)

清水 香名(福祉心理学科4年)
 伊藤 貴紀(福祉心理学科4年)
 <受賞理由>
 学生ボランティアコーディネーター発足時より尽力貢献。第3回学生ボランティアと支援者が集う全国研究交流会へ、国立妙高青少年自然の家からの選抜により参加。(平成26年度)

金井 結(幼児教育学科2年)
 <受賞理由>
 第38回ピティナ・ピアノコンペティション東日本デュオI地区本選出場、本選奨励賞受賞。(平成26年度)

大 短

「業界・企業研究フェア」を開催



2月24日(火)、朱鷺メッセにて「新潟青陵大学・短期大学部 業界・企業研究フェア」を開催いたしました。

参加学生総数は182名にのぼり、内訳は短大 人間総合学科人間総合コース1年生 161名、大学 福祉心理学科3年生 21名という、活気溢れる説明会となりました。

本年は、3月1日(日)就活解禁の「就活後倒し元年」ということもあり、短期集中型新卒採用の厳しい選別状況を意識してか、参加学生達は昨年にも増して参加企業ブースを数多く廻り、終了時間を超えてまでも熱心に説明を受ける姿が多数見受けられました。

フェアには、北越銀行・大光銀行・JR東日本等、県内・外優良企業新規参加含む41社が参加、各社人事担当者様から熱の入ったご説明をいただきました。

この研究フェアが本学学生の就職に結びつくよう祈念しつつ、今後更なる就職支援に努めてまいります。



短

新潟青陵大学短期大学部・長岡造形大学 合同
ファッションショー in メディアシップ

短大 人間総合学科 人間総合コースでは、学びの集大成となるファッションショーを昨年暮れに開催し、無事10回目を終えることができました。

節目の年に当たる今年度初め、長岡造形大学より本学と合同のファッションショー企画のオファーをいただき、その後、ふたつのショーの準備を進めてきました。

合同ファッションショー会場のメディアシップには、本学と新潟青陵大学、新潟薬科大学、長岡造形大学の4大学が連携したサテライトキャンパスがあり、各大学の価値観を高め、学生同士の交流を深め、学びの場として多くのひとに認識してほしい場でもあります。

2月14日(土)のショー当日、両大学の理事長をはじめ、一般の方々、各関係者の家族、友人等、500人ほどが見守るなか本番がスタートしました。

自らが作り上げたドレスで登場した本学20人の学生たちは、どの顔も自信に満ち溢れ、キラキラ輝いていました。たくさんの温かい拍手をいただく中で、さらに、かっこよく、可愛く、美しく、思う存分楽しんでいるかのようでした。

両学生たちが創り上げたファッションショーは大成功のもと終了しましたが、貴重な経験と培った力を糧に社会人として歩んで欲しいと願っています。



大 短

青空祭を終えて



2014年度の青空祭(大学祭)は、11月1日(土)・2日(日)に開催されました。

1日にはミス・ミスターコンテスト、逆ミス・逆ミスターコンテストが行われました。2日には、なんとBENIさんのライブがありました。

また、両日ともクラブによるステージパフォーマンスやたくさんの模擬店があり、大盛況でした。

この日に向けて、約半年間かけてスタッフ一同で準備を進めてきました。楽しいことも、苦しいこともありましたが、青空祭を大成功で終えることができとても嬉しく思います。

最後の会議での笑顔、涙は今までの苦労をふきとばしてしまうくらい、そしてみんなで協力して作り上げた学祭が終わってしまうのがさみしいくらい感動的なものでした。この青空祭は最高の宝物です!

素敵なライブを届けてくださったBENIさん、ご迷惑をおかけしたにも関わらず、たくさん助けてくださった教職員の皆様、たくさんアドバイスをくださった先輩方、ご協力いただいた学生の皆さん、共に頑張った青空祭スタッフ、そしてご来場いただいた皆様、本当にありがとうございました。青空祭に関わってくださったすべての方に心より感謝申し上げます。

来年の青空祭にもぜひご期待ください。
(看護学科2年 青空祭
実行委員長 金子貴夫)



大 短
地域の皆さまを対象に、特別受講生制度を実施

新潟青陵大学(看護学部・福祉心理学部)および新潟青陵大学短期大学部(人間総合学科・幼児教育学科)では、地域社会に開かれた大学として継続的・体系的な生涯学習のご提供を目指し、2015年度より特別受講生制度をスタートいたします。

この制度は、地域の皆様のご期待と日頃からのご支援

に積極的にお応えすべく、両大学の授業科目の一部を公開し、学生と一緒に学んでいただくものです。

より多くの地域の方々のご受講をお待ちしております。


特別受講生制度 2015年度前期 公開授業科目

科目名	開催日	受講料	担当教員	
住居学概論	月曜日 8:50 - 10:20	10,000円 (授業回数:15回)	五十嵐 由利子(人間総合学科 教授)	
カラーコーディネート論Ⅰ	月曜日 10:30 - 12:00		山口 雄三(人間総合学科 教授)	
アパレル素材論Ⅰ	金曜日 8:50 - 10:20		丸山 尚夫(人間総合学科 教授)	
ことばの科学	月曜日 10:30 - 12:00		野中 辰也(人間総合学科 教授)	
調理理論	月曜日 12:50 - 14:20		玉木 民子(人間総合学科 准教授)	
食生活と健康	木曜日 12:50 - 14:20		海津 夕希子(人間総合学科 准教授)	
コミュニケーション論	火曜日 12:50 - 14:20		関久美子(人間総合学科 准教授)	
簿記Ⅰ	金曜日 8:50 - 12:00		紺野 卓(人間総合学科 准教授)	
地域総合学	隔週水曜日 14:30 - 17:40		神林 恒道(新潟青陵大学 客員教授)	
陶芸	水曜日 12:50 - 16:00		宮越 敏夫(幼児教育学科 准教授)	
発達心理学Ⅰ	月曜日 8:50 - 10:20		宮崎 隆穂(幼児教育学科 教授)	
音楽	木曜日 14:30 - 16:00		栄長 敬子(幼児教育学科 准教授) 野口 雅史(幼児教育学科 准教授)	
社会福祉原論Ⅰ	月曜日 8:50 - 10:20		平川 毅彦(社会福祉学科 教授)	
音楽	月曜日 8:50 - 10:20		渡辺 優子(社会福祉学科 准教授)	
保健医療社会学	火曜日 8:50 - 10:20		海老田 大五朗(社会福祉学科 准教授)	
社会福祉援助技術総論	金曜日 8:50 - 10:20		20,000円 (授業回数:30回)	田中 清(社会福祉学科 准教授)
心理学	火曜日 12:50 - 14:20		10,000円 (授業回数:15回)	碓井 真史(臨床心理学研究科 教授)
統計学	火曜日 16:10 - 17:40	中平 浩人(看護学科 教授)		
疫学	木曜日 10:30 - 12:00	中平 浩人(看護学科 教授)		

特別受講生制度の
お問い合わせは

新潟青陵大学・短期大学部 エクステンションセンター

新潟市中央区水道町1-5939

TEL : 025-266-9550

<http://www.n-seiryu.ac.jp/index.html>

E-mail : ex@n-seiryu.ac.jp

大 短

地域の皆さまを対象に、子育て・福祉・英語・パソコンなど、幅広い内容の講座を開講

新潟青陵大学・短期大学部エクステンションセンターでは、大学・短大の教育機能を広く社会に開放するために、地域の皆様から気軽にご参加いただける公開講座を開催しております。2015年度前期公開講座では、子育て・福祉・英語・パソコンなど、9講座を開講します。また、新潟日報asshとコラボした子育て講座も年間6講座を開講予

定です。

今後開講される講座は以下のとおりです。受講をご希望の方は下記エクステンションセンターまでお問い合わせください。



2015年度 前期公開講座

講座タイトル		開催日時	受講料	講師
ICT活用講座	Microsoft Word 2013 基礎	5月23日(土) 13:00 - 18:00	3,000円 (テキスト別途)	村山 和恵(新潟青陵大学短期大学部 人間総合学科 助教)
	Microsoft Excel 2013 基礎	5月16日(土) 13:00 - 18:00	3,000円 (テキスト別途)	中野 充(新潟青陵大学 福祉心理学部 准教授)
産・学・官 連携の障害者雇用 ～インクルーシブデザインとネットワークの構築～		5月29日(金) 15:30 - 17:30	1,000円	海老田 大五朗(新潟青陵大学 福祉心理学部 准教授) 新潟市障がい者雇用支援企業ネットワーク“みつばち”
ひきこもった子どもとの程よい親子の距離について ～みんなで考えよう!～		6月7日(日) 13:00 - 16:15	500円	碓井 真史(新潟青陵大学大学院臨床心理学研究科 教授)
インターネットを利用して 英語文献を読もう!	第1回 オンライン辞書の活用	6月13日(土) 9:30 - 12:30	3,000円	木村 哲夫(新潟青陵大学 福祉心理学部 教授)
	第2回 語彙学習ツールの活用	6月27日(土) 9:30 - 12:30		
誕生学* ～生まれてきたことが嬉しくなると未来が楽しくなる～		6月14日(日) 10:00 - 11:30	500円	池田 かよ子(新潟青陵大学 看護学部 教授 誕生学アドバイザー(公益社団法人誕生学協会))
こどもの病気 ～こんなとき、どうする?～		6月18日(木) 11:15 - 12:15	無料	浅見 直(新潟青陵大学 看護学部 教授 医学博士、小児科専門医)
川嶋直の 「参加型コミュニケーションスキル講座」		7月5日(日) 14:30 - 17:30	4,000円	川嶋 直(公益社団法人日本環境教育フォーラム理事長、公益財団法人キープ協会 環境教育事業部シニアアドバイザー、立教大学大学院異文化コミュニケーション 研究科兼任講師、日能研体験的学び室顧問)
初心者のための手練り陶芸講座		7月8・15・22・29日 8月5日(毎週水曜) 18:30 - 20:30	6,000円	宮越 敏夫(新潟青陵大学短期大学部 幼児教育学科 准教授 武蔵野美術大学彫刻科卒、県展無鑑査・県美術連盟理事・市美術協会理事)

2015年度 子育て応援隊～つぼみのひろば～ 子育て講座

たっぷり愛され、たっぷり甘えて自立する子ども	6月13日(土) 10:00 - 11:30	無料 (保険料100円別途)	加藤 由美子(新潟青陵幼稚園 園長)
親子一緒に遊びましょう	7月4日(土) 10:00 - 11:30		新潟青陵幼稚園 教諭
母と娘の月経教室	8月1日(土) 10:00 - 12:00		池田 かよ子(新潟青陵大学 看護学部 教授)
子どもと楽しむ絵本	9月19日(土) 10:00 - 11:30		原田 留美(新潟青陵大学 福祉心理学部 教授)
子どもの嘘との関わり方	10月10日(土) 10:00 - 12:00		宮崎 隆穂(新潟青陵大学短期大学部 人間総合学科 教授)
冬に気をつけたい病気	11月21日(土) 10:00 - 11:30		浅見 直(新潟青陵大学 看護学部 教授)

公開講座および
子育て講座のお問い合わせは

新潟青陵大学・短期大学部 エクステンションセンター

新潟市中央区水道町1-5939

TEL : 025-266-9550

<http://www.n-seiryu.ac.jp/index.html>

E-mail : ex@n-seiryu.ac.jp

子育て講座は4大学メディアキャンパス(TEL : 025-278-3875)でもお問い合わせ・参加申し込みを受け付けています。

学校行事

●平成26年度卒業式
平成27年3月18日(水)
短期大学部:開式11:00
大学・大学院:開式14:00
会場:新潟市芸術文化会館(りゅーとぴあ)

●平成27年度入学式
平成27年4月2日(木)
短期大学部:開式10:30
大学・大学院:開式14:00
会場:新潟青陵大学・新潟青陵大学短期大学部体育館

地域の皆さまへお知らせ

●図書館 開館時間:平日 8:30~21:00
土曜日 9:30~17:00
※開館時間の短縮、休館日などがあります。
詳しくは図書館ホームページをご覧ください。
<http://www.n-seiryu.ac.jp/library/>

●臨床心理センター
新潟青陵大学大学院臨床心理センターでは、地域一般の方々を対象に「こころの悩み」についての相談活動・カウンセリングを行っています。ご相談をご希望される場合は、事前にお電話でお申し込みください。なお、ご相談については所定の料金が必要となります。
開室:平日のみ(木曜日を除く)
受理面接 13:00~17:00(木曜日を除く)
相談面接 10:00~18:00(担当者により異なります)
臨床心理センター直通電話番号 025-266-9533
(受付時間 木曜を除く平日10:00~17:00)

オープンキャンパス

●短期大学部
平成27年3月21日(土・祝) 10:00~14:00
<内容>
学科コース紹介、職業紹介、入試概要&学費説明、学食体験、学校見学、ピアノ体験 等

●大学
平成27年3月22日(日) 10:00~14:00
<内容>
学部・学科紹介、職業紹介、学食体験、学校見学、フリートーク 等

新潟青陵大学次期学長が決定

新潟青陵大学では、諫山 正(いさやただし)学長の任期が平成27年3月31日をもって満了となることに伴い、平成27年1月30日開催の学校法人新潟青陵学園理事会において、次期学長に現職の諫山 正学長を再任(2期目)いたしました。

任期は、平成27年4月1日から平成31年3月31日までの4年間です。

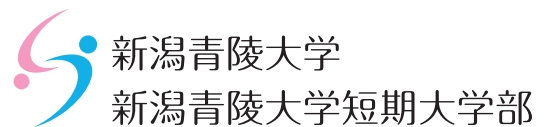
<プロフィール>

1935年生まれ 79歳
1959年3月 九州大学経済学部経済学科卒業
1967年3月 東京教育大学大学院文学研究科博士課程単位取得退学
1990年4月 新潟大学経済学部長
2001年4月 新潟青陵女子短期大学国際文化学科教授
2004年4月 新潟青陵大学短期大学部学長代行
2011年4月 新潟青陵大学学長

編集後記 NIIGATA SEIRYO NEWS 2015/3 March No.10

3月を迎え、今年度も多くの学生を社会に送り出すことができました。本学では「ケアのこころ(自らケアができ、ケアされる側の気持ちを理解する)」を持った人材の育成を目標に掲げ、教育に努めてまいりました。この春巣立った学生たちがこのこころを持ち続けて地域社会で活躍することを願っております。そして4月からは、新潟青陵大学に新たに看護学部看護学科、福祉心理学部社会福祉学科及び臨床心理学部を開設し、看護・保健領域と福祉心理領域との連携はそのままだ、これまで以上に専門性を深めた学びの場を提供いたします。また、地域との連携をより深めるために、大学・短期大学部共通の地域貢献センターの設置、本学で開講している授業を受講していただく特別受講生制度も開始いたします。ぜひ本学に足をお運びいただければ幸いです。

(事務局長 栗林 克礼)



〒951-8121 新潟市中央区水道町1丁目5939番地
Tel : 025-266-0127(代) Fax : 025-267-0053
URL : <http://www.n-seiryu.ac.jp>
[オープンキャンパス・入学試験に関するお問い合わせ]
アドミッションズオフィス
Tel : 025-266-8833 Fax : 025-266-9642
E-mail : ao@n-seiryu.ac.jp